

郡山八幡神社 鳥居再建

4/9



本殿が国の重要文化財に指定されている郡山八幡神社。昨年の台風 14 号で鳥居の神額部分が被害を受け、再建中だった鳥居が完成しました。

鳥居竣工報告祭には氏子総代会が参加し、完成の報告と参拝者の安全を祈願しました。

関係者は「県内外の約 400 人から寄附をいただいた。たくさんの方の想いを背負い、今後も地域一丸となって神社を守っていきたい」と決意を新たにしました。

今後は、昨年火災で焼失した社務所の再建に向け、クラウドファンディングにも挑戦予定とのことです。

雄々と泳ぐこいのぼり（表紙）



こどもたちの健やかな成長と家族の幸せを願って、湯之尾滝の青空に約 300 匹のこいのぼりが雄々と泳いでいます。5月中旬頃まで泳いでいます。どうぞ、ご覧ください。

4/10



〈写真左から〉脇迫 里帆さん、大友 翔太さん、周防原 朋也さん、山崎 夕真さん

感謝状贈呈式

4/14



伊佐市に対し企業版ふるさと納税による寄附をしていただいた雷電株式会社へ感謝状が贈られました。

式には雷電株式会社から道場守会長が出席され、市長は「この寄附金は御社の努力によって培われたものであり、要望をいただいた子育て支援に大切に活用させていただきます」と話しました。

フリーマーケット開催

4/16



川内川上流流域活性化クラブが主催する「川内川河川敷フリーマーケット」が下殿橋下で開催されました。今回は 14 店舗が出店、竹製品や骨董品、雑貨、食料品などが店頭並び、来場客は品定めを楽しんでいました。

「第 1 回目の開催で心配もあったが、多くのお客さんに来てもらえて良かった」と関係者からは笑みがこぼれました。今後は毎月第 1、第 3 日曜日に定期開催するそうです。

伊佐の魅力を全力PR！

伊佐市役所で PR レディ・ボーイ委嘱状交付式が行われました。PR レディ 4 年目の脇迫里帆さんは「コロナ禍で各種イベントが中止になるなど、思うような活動ができず消化不良だった。今年はイベントの開催も増えてくると思うので積極的に参加し、伊佐の魅力を発信していきたい」と語りました。

今月 7 日には大阪市で開催される関西かごしまファンデーで伊佐の観光や特産品の PR を行う予定です。みなさんの活躍を期待しています！

新しい風



4/4

伊佐市役所菱刈庁舎で転入教職員着任式が行われました。

代表者あいさつでは、大口中立中学校の竹ノ山誠忠校長が「新しい風を吹き込み伊佐の教育に貢献したい」と意気込みを語りました。

また、今回着任した59人の教職員へ記念品として、JA北さつま、大口酒造株式会社から伊佐米と焼酎が贈呈されました。

心がけよう！交通安全



3/24

鹿児島県トラック協会が、市教育委員会に文房具170セットを寄贈しました。この文房具には、交通標識などがプリントしてあり、市内新入学児童に配付されます。

北薩地区研修センター所長の岩黒陽一さんは「道路には危険がたくさんあります。交通ルールを守って、楽しい学校生活を送ってほしいです」と話しました。

交通安全いさっこ1年生

4/4



この春市内小学校に入学した児童に、交通安全用品が贈られました。

伊佐湧水警察署の持留道男署長は、「黄色い帽子とランドセルカバーには、みなさんの安全を願うたくさんの方の思いが込められている。交通事故にあわないように元気に過ごしてください」と話しました。

贈呈式に出席した5人（大口幼稚園卒園児）は、「これからも交通ルールをきちんと守って小学校に通います」と元気よく宣誓しました。

子どもと学ぶ防犯活動

4/13



4月6日から19日までの期間で「春の子ども安全見守り大作戦」が実施され、針持小学校では新1、2年生を対象に防犯教室が行われました。子ども110番の家の確認や防犯標語「いかのおすし」について警察官から説明があると、児童らは大きな声で復唱し、防犯に対する知識を深めました。

教室の最後には西太良地区防犯パトロール隊から防犯グッズがプレゼントされ、児童全員で感謝の言葉を述べました。

名門復活に向けて！

県内外から50人の新入生を迎え、大口高等学校の入学式が行われました。吉満庄司校長は「剛・和・新の校訓のもと、自分で考え行動できる大人になってください」と式辞を述べ、新入生代表の園田ひなたさんは「勉強はもちろん、部活動やボランティア活動に頑張りたい」と誓いの言葉を述べました。

昨年創立100周年を迎えた大口高校が、名門復活に向けて新たなスタートを切りました。

4/11

